

平成30年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月13日

上場会社名 株式会社 ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 2769 URL <https://www.village-v.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川 篤典

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 滝島 知樹

TEL 052-769-1150

四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第3四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第3四半期	25,577	4.6	462	106.0	438	345.5	551	
29年5月期第3四半期	26,821	22.1	224	18.7	98	61.7	267	

(注) 包括利益 30年5月期第3四半期 576百万円 (%) 29年5月期第3四半期 289百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第3四半期	68.29	59.26
29年5月期第3四半期	34.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第3四半期	27,564	9,013	32.6
29年5月期	24,901	6,942	27.7

(参考) 自己資本 30年5月期第3四半期 8,981百万円 29年5月期 6,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		0.00		14.00	14.00
30年5月期		0.00			
30年5月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,285	1.1	333	54.9	213	123.2	39		5.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年5月期3Q	7,805,500 株	29年5月期	7,700,500 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年5月期3Q	1 株	29年5月期	1 株
----------	-----	--------	-----

期中平均株式数(四半期累計)

30年5月期3Q	7,747,004 株	29年5月期3Q	7,700,226 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

平成29年6月22日開催の取締役会において、As-meエステール株式会社およびAEフードアンドダイナー株式会社（平成29年8月1日にヴィレッジヴァンガードプレース株式会社へ商号変更）と業務提携契約を締結、AEフードアンドダイナー株式会社に当社のフード事業を会社分割する決議を行い、同日付で吸収分割契約を締結しました。なお、吸収分割の効力発生日は平成29年8月1日としており、平成29年8月1日付けにて吸収分割を実施いたしました。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成29年6月1日～平成30年2月28日）におけるわが国経済は、政府による経済政策は継続されるものの、日本経済とつながりのある海外諸国における不安定な情勢から、今後の企業業績への影響が注視されております。

小売業界におきましては、消費の下支えとなる訪日観光客は、依然として増加基調ではありますが、消費に至っては商品購入における消費単価は低下、観光地訪問などのサービス消費へ向かう傾向がより強く表れてきております。国内の個人消費につきましても雇用環境の改善がみられるものの、賃金の伸び悩みや社会保険料等の負担増加により、将来不安等を背景とした節約志向・選別消費の傾向は今後も継続していく状況であります。

このような状況の下、当社グループは、お客様の期待に応え、選ばれる店舗をめざし、店舗ごとに独創的な空間を創出するワクワクする専門店集団として、「モノ」だけではなく「コト」も提供することにより、お客様が「新しい発見」や「買い物の楽しさ」を実感できる事業活動を継続して行ってまいりました。店舗運営においては新しいタイプの売り場づくり、POSを活用した商品施策を引き続き行っております。また、店舗集客を目的とした情報発信源として各種催事やイベントの開催、魅力ある店舗作りのコンテストを実施するなど、店舗運営におけるサポート体制の強化を図りつつ、販売費及び一般管理費の削減にも取り組んでまいりました。

店舗出店につきましては、インショップへの出店を中心に直営店6店を新規出店し、直営店16店、FC店2店を閉鎖しました。また、当社フード事業21店舗を連結対象外会社へ会社分割したことにより、当社グループの当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店346店、FC店8店の合計354店となりました。

このような事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、25,577百万円と前年同四半期と比べ1,243百万円の減収（4.6%減）となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化に継続的に取り組んだものの、売上高の減少が影響し9,897百万円と766百万円減少（7.2%減）いたしましたが、販売費及び一般管理費の削減及び効率化に取り組んでまいりました結果、営業利益は462百万円（106.0%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーションは、お客様に買い物を楽しんでいただくため、独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

各店舗では、書籍・SPICE（雑貨類）及びニューメディア（CD・DVD類）、アパレル等の商材を融合させ、店舗独自の「提案」を展開しております。

主な業態店舗としては、「遊べる本屋」をコンセプトにした「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、アウトレット業態「Vintage Vanguard」等を運営しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、25,028百万円と前年同四半期と比べ1,002百万円の減収（3.9%減）となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化に継続的に取り組んだものの、当社フード事業21店舗を連結対象外会社へ会社分割したことに基づく店舗数の減少による売上高の減少が影響し9,677百万円と556百万円減少（5.4%減）いたしましたが、販売費及び一般管理費の削減及び効率化に取り組んでまいりました結果、営業利益は512百万円と前年同四半期と比べ263百万円の増益（105.7%増）となりました。店舗数につきましては直営店6店を新規出店し、直営店16店、FC店2店を閉鎖しました。そのため、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は直営店346店、FC店8店の合計354店となりました。

②その他

株式会社Village Vanguard Webbedは日本国内でオンラインでの書籍・SPICE及びニューメディアの販売を行っております。取扱商品といたしましては、個人クリエイターが作成した商品、アーティストとのコラボ商品などを多く取り扱い、画一的でなく、面白味のある商品を多数取り扱っております。

また、当社グループには海外事業といたしまして、海外子会社が3社ありますが、比利緹卡(上海)商贸有限公司につきましても平成28年3月末をもって店舗を閉店、Village Vanguard (Hong Kong) Limitedにつきましても平成28年6月末をもって店舗を閉店、TITICACA HONGKONG LIMITEDにつきましても平成29年6月末をもって店舗を閉店いたしております。今後、順次、会社清算へ向けた手続きを進めていく予定であります。

子会社（株式会社Village Vanguard Webbed及び海外子会社3社）の当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は621百万円と前年同四半期と比べ227百万円の減収（26.7%減）となりました。営業損失は51百万円（前年同四半期は37百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて14.4%増加し、23,537百万円となりました。これは、現金及び預金が2,477百万円、商品が710百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.7%減少し、4,027百万円となりました。これは、建物及び構築物が182百万円、差入保証金が133百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて10.7%増加し、27,564百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、9,305百万円となりました。これは、未払金が138百万円減少いたしましたが、買掛金が190百万円、未払法人税等が154百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.9%増加し、9,245百万円となりました。これは、長期借入金が469百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.3%増加し、18,551百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,070百万円増加し、9,013百万円となりました。これは、資本金が54百万円、資本剰余金が1,554百万円、利益剰余金が443百万円増加したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2,477百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には5,205百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は229百万円（前年同四半期は19百万円の支出）となりました。

これは、主にたな卸資産の増加額835百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益727百万円、減価償却費301百万円があったためであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果獲得した資金は436百万円（前年同四半期は3,310百万円の支出）となりました。

これは、主に有形固定資産の取得による支出61百万円、無形固定資産の取得による支出116百万円があったものの、事業分離による収入647百万円があったためであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は1,812百万円（前年同四半期は2,158百万円の収入）となりました。

これは、主に長期借入金の返済による支出3,058百万円があったものの、長期借入れによる収入3,602百万円、株式の発行による収入1,584百万円があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年7月14日発表の平成30年5月期の通期の連結・個別業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,728	5,205
売掛金	1,336	1,098
商品	16,284	16,994
繰延税金資産	10	29
その他	225	210
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	20,583	23,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,829	1,646
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	270	205
建設仮勘定	4	97
有形固定資産合計	2,104	1,949
無形固定資産		
ソフトウェア	226	218
ソフトウェア仮勘定	147	196
その他	1	1
無形固定資産合計	375	416
投資その他の資産		
長期前払費用	151	106
差入保証金	1,686	1,553
その他	0	1
投資その他の資産合計	1,838	1,661
固定資産合計	4,318	4,027
資産合計	24,901	27,564

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,731	3,922
短期借入金	190	260
1年内返済予定の長期借入金	3,618	3,690
未払金	656	518
未払法人税等	115	270
未払消費税等	54	18
株主優待引当金	50	46
賞与引当金	53	26
店舗閉鎖損失引当金	10	4
資産除去債務	40	10
その他	621	537
流動負債合計	9,142	9,305
固定負債		
長期借入金	6,662	7,132
長期未払金	238	225
役員退職慰労引当金	324	336
退職給付に係る負債	292	264
資産除去債務	1,225	1,196
その他	71	90
固定負債合計	8,815	9,245
負債合計	17,958	18,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,246	2,301
資本剰余金	2,223	3,778
利益剰余金	2,440	2,884
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,911	8,963
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17	18
退職給付に係る調整累計額	△24	—
その他の包括利益累計額合計	△6	18
新株予約権	38	31
純資産合計	6,942	9,013
負債純資産合計	24,901	27,564

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
売上高	26,821	25,577
売上原価	16,158	15,680
売上総利益	10,663	9,897
販売費及び一般管理費	10,438	9,434
営業利益	224	462
営業外収益		
仕入割引	28	28
業務受託料	62	69
為替差益	25	—
受取負担金	—	42
その他	31	55
営業外収益合計	146	196
営業外費用		
営業外支払手数料	166	68
支払利息	97	109
為替差損	—	1
その他	8	40
営業外費用合計	273	220
経常利益	98	438
特別利益		
新株予約権戻入益	10	5
事業分離における移転利益	—	276
債務免除益	—	46
特別利益合計	10	328
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	30	19
減損損失	70	19
子会社株式売却損	150	—
特別損失合計	251	39
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△142	727
法人税等	124	176
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△267	551
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△267	551

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成30年2月28日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△267	551
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△28	0
退職給付に係る調整額	6	24
その他の包括利益合計	△22	24
四半期包括利益	△289	576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△289	576

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成30年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△142	727
減価償却費	365	301
事業分離における移転利益	—	△276
減損損失	70	19
子会社株式売却損益(△は益)	150	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27	△3
売上債権の増減額(△は増加)	36	246
たな卸資産の増減額(△は増加)	△571	△835
仕入債務の増減額(△は減少)	340	230
その他	0	9
小計	277	420
利息及び配当金の受取額	2	0
利息の支払額	△97	△109
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△201	△82
営業活動によるキャッシュ・フロー	△19	229
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△226	△61
無形固定資産の取得による支出	△124	△116
差入保証金の差入による支出	△62	△59
差入保証金の回収による収入	50	71
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	△2,871	—
事業分離による収入	—	647
その他	△77	△44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,310	436
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△290	70
長期借入れによる収入	6,282	3,602
長期借入金の返済による支出	△3,459	△3,058
割賦債務の返済による支出	△111	△209
配当金の支払額	△107	△107
株式の発行による収入	10	1,584
その他	△165	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,158	1,812
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,169	2,477
現金及び現金同等物の期首残高	3,990	2,728
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,820	5,205

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年12月22日付で、第三者割当によるA種優先株式の発行により総額1,500百万円の払い込みを受けたことから、資本金が750百万円、資本準備金が750百万円増加し、資本金が3,051百万円、資本準備金が3,028百万円となりました。

また、同日付で会社法第447条第1項及び第3項並びに会社法第448条第1項及び第3項の規定に基づき、資本金750百万円、資本準備金750百万円を減少させ、それぞれの全額をその他資本剰余金に振り替えております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成28年6月1日至平成29年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他（注）3	合計	調整額 （注）1	四半期連結財務諸表計上額 （注）2
	㈱ヴィレッジヴァンガードコーポレーション				
売上高					
外部顧客への売上高	26,030	790	26,821	—	26,821
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	58	58	△58	—
計	26,030	848	26,879	△58	26,821
セグメント利益又は損失（△）	249	△37	211	13	224

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額13百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、Village Vanguard (Taiwan) Limited、比利緹卡（上海）商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。なお、Village Vanguard (Taiwan) Limitedにつきましては平成28年12月12日に清算終了しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成29年6月1日 至 平成30年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他（注）3	合計	調整額 （注）1	四半期連結財 務諸表計上額 （注）2
	㈱ヴィレッジヴァ ンガードコーポレ ーション				
売上高					
外部顧客への売上高	24,994	582	25,577	—	25,577
セグメント間の内部売上 高又は振替高	33	39	72	△72	—
計	25,028	621	25,649	△72	25,577
セグメント利益又は損失 （△）	512	△51	461	1	462

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、比利
緹卡（上海）商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。